

科目コード	N20202	科目名	看護学基礎演習				
履修区分	必修	開講期	2年後期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	原田 耕志						
授業の概要	口腔の構造と機能（口腔ケアや口腔機能精密検査）について系統的について学習していく。演習科目であり、テキストベースの授業形式に加えて、相互実習、確認テストの実施やフィードバックにより、学生自身が卒業後、病院に所属する歯科衛生士とスムーズなコミュニケーションが図れ、さらにチーム医療の実践に役立つことを目的とする。						
DPとの関連	平和を希求する姿勢を身につける						
	豊かな教養を身につける						
	高い倫理観と責任感、他者との信頼関係を築き協働できる能力を身につける						
	看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につける						
	地域に生活している人々に対して深い関心と理解する姿勢を身につける						
	自らの学びを通じて人々や地域社会に積極的に関わり貢献しようとする意欲を身につける						
	多様な保健医療福祉の場での多職種との連携で、看護専門職として機能を発揮する能力を身につける						
	社会情勢や人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につける						
	異なる文化や多様な考えを受け入れ、看護職者としての価値観を形成する能力を身につける						
DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	1．口腔内の特徴や歯牙について構造と機能が理解でき説明できる。 2．口腔内病変や歯科疾患について理解でき説明できる。 3．口腔ケアや口腔機能精密検査が実践できる。						
履修上の注意事項	口腔が全身の健康に重要であることが世界的に認識されてきています。卒業後、病院に所属する歯科衛生士とスムーズなコミュニケーションが図れ、さらにチーム医療の実践に役立つことを目的とした、本学の特徴的な演習であることを理解して学んでください。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	口腔の特徴【原田耕志】					
	2	歯牙の特徴【原田耕志】					
	3	う蝕と歯周病【原田耕志】					
	4	あなたが受けている歯科治療の実際【原田耕志】					
	5	口腔細菌と全身疾患の関係1【原田耕志】					
	6	口腔細菌と全身疾患の関係2【原田耕志】					
	7	顎骨壊死【原田耕志】					
	8	口腔粘膜疾患とがん病変【原田耕志】					
	9	口腔がん【原田耕志】					
	10	口腔ケア1【原田耕志】					
	11	口腔ケア2【原田耕志】					
	12	口腔ケア3【原田耕志】					
	13	口腔機能精密検査1【原田耕志】					
	14	口腔機能精密検査2【原田耕志】					
	15	口腔機能精密検査3【原田耕志】					
成績評価方法	定期試験50％・課題提出物の評価50％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
参考書							
教員からのメッセージ	講義後には、わからないところはそのままにせず、講義中、講義終了後などに質問してください。対応しますので、どうぞ、遠慮なくお願いします。						
教員との連絡方法	大学専用のe-mail でお問い合わせ（c-learningではキャッチが遅れることがありますので、ご協力をお願いします。）						
実務経験のある教員	『看護学基礎演習』の科目同様のバックグラウンドをもつ教員が引き続き行う。 から へ発展させるため一貫したメソッドで実現できる。学生を継続的にみていけるので、弱点のスクリーニングを可能とし、強化点が一般的でなく個別に対応できる。担当教員が学習支援センター業務を担っているため、講義後もフォローアップを行える体制にある。						